

新規就農先輩の軌跡 No.59

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
<div data-bbox="354 315 625 676" data-label="Image"> </div> <p>氏名：濱村 直哉（はまむら なおや） 住所：たつの市御津町苅屋 年齢：26歳</p>	<p>農地：水田40a、畑1.5ha(借地なし) 経営内容：にんじん1.2ha、だいこん1.2ha、青 うり10a他 労働力：本人、祖父（収穫作業のみ母、祖母） 出荷先：市場</p> <div data-bbox="874 600 1388 943" data-label="Image"> </div> <p>だいこんの畝たて作業</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>平成20年 県立農業大学校卒業、JA兵庫西 入組（営農指導員） 平成24年 新規就農離陸加速モデル推業 を活用して研修 平成26年 就農</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え、判断で作物を栽培することで責任感と充実感が得られる。 ・農繁期は忙しいが農閑期は自分の時間をつくることができ、プライベートも充実できる。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候不順などで計画通りに作物を栽培できない。
<p>農業をめざした動機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身内に農業関係に従事する者が多く、小さい頃から農業に接することが多かった。祖父に後継者がいないこともあり、高校卒業後、農業の道を志すこととした。 ・栽培した作物を消費者が「おいしい」と言って食べてもらえることに農業の魅力を感じるようになった。 	<p>後輩へ贈る言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初から自分で管理ができないほどの無理な栽培をすると全てが中途半端になるので、短期・長期の目標を立て、余裕を持って、経営・栽培管理をする。 ・仕事にメリハリをつけ、やるときはやって休む時はしっかり体を労る。